

2018（平成30）年7月18日

同窓会会員の皆様

学校法人アトムメント会
理事長・学園長 平松 達美

聖ヨゼフ学園中学・高等学校の共学化について

学園の教育活動に対する、同窓会会員の皆様方のご支援、ご協力に心からの感謝を申し上げます。

アトムメントのフランシスコ会会員勝野巖神父（聖ヨゼフ学園初代校長）は、戦後の荒廃した社会状況の下、1953（昭和28）年、鶴見聖ヨゼフ小学校開校にあたり、普遍的な価値判断ができる人を育てる教育を目指し「信・望・愛」を建学の精神と決めました。

信（神を信じ）・望（神の約束の実現を希望し）・愛（神の愛ゆえに神を愛し、人々を愛する）とは、神に愛された私たちが、キリストと一致して、この世を生きるために、神が与えてくださる徳＝生きる力です。

学校法人アトムメント会として、この建学の精神に基づき、幼稚園（聖クララ幼稚園）から高等学校に至る教育を展開しています。それは、「信・望・愛」によって生きる人こそが、この混沌とした時代に希望の光をもたらし、愛をもって互いに支えあい、この世界に和解（アトムメント）と平和をもたらすと確信するからです。

本年、創立65年目を迎えた聖ヨゼフ学園は、これまでの伝統の継承と発展を図るために、時のしるしを読み、識別し、神のみ旨に従い、新たな時代に向け、建学の精神に基づく価値ある教育創出の努力を積み重ねて参りました。

本年1月、小学校は国際バカロレアPYP（初等教育プログラム）の認定校となりました。学校教育法第1条に基づく小学校として我が国初の認定をいただきました。「多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ児童を育成する」ことを目的とする世界標準の教育は、建学の精神である「信望愛」に基づく教育の、これからの時代に向けた具現化です。この取り組みを推進し、世界に和解（アトムメント）と平和をもたらす、神様の創造のみわざに参与する人の育成に力を注いで参ります。

創立以来、中学・高等学校は女子教育を柱とした人間教育に力を入れて参りましたが、2020年度より共学校として男子生徒の募集を開始いたします。今日の社会状況は創立時と大きく異なり、男女の協働による、より良い社会の建設が非常に重要な時代となりました。私たちは、建学の精神に基づく真の人間教育を担うという使命を全うするために、聖ヨゼフ学園全体での共学化が急務であると判断いたしました。共学化に向けた様々な準備に力を注いでいくと共に、一貫校としての使命を、さらに強固に推進していく所存です。

皆様方のご理解、ご支援、ご協力をお願いいたします。